

9月25日
創立110周年記念で町に寄付
大地みらい信金に感謝状贈呈



伊藤理事長(左)に感謝状を贈呈
町へ100万円を寄付した大地みらい信用金庫(伊藤哲也理事長)に対し、感謝状の贈呈式を9月25日に町役場で行いました。
同金庫は本年5月に創立110周年を迎え、これを記念し釧根地区の2市10町1村に対し順次寄付を行っています。伊藤理事長は「釧路・根室管内はふるさとだと思っている。この寄付が環境の保全とますますの発展につながれば。」と話していました。いただいた寄付は、摩周湖や屈斜路湖などの環境保全事業に活用されます。

9月24日・25日・28日・29日
交通安全意識を高める
美留和小学校の児童が旗の波運動



秋の全国交通安全運動期間に合わせ、美留和小学校(齊藤靖恵校長)の児童たちが9月24日から29日の土日を除いた4日間、同校前の国道391号で「小さな旗の波運動」を実施しました。
この運動は、令和7年に美留和地区で発生した交通事故について改めて認識を深め、児童とドライバー双方の交通安全啓発を目的に行われたものです。齊藤校長は「交通安全を呼びかける立場を経験してもらうことで、児童の安全意識を高められれば。」と話していました。

9月11日
豊かに実った秋の味覚
川湯保育園児がジャガイモ収穫を体験



川湯保育園(小林史和園長)の3歳から5歳の園児たちが9月11日、藤本農場(川湯温泉7丁目)でジャガイモの収穫体験を行いました。
「子どもたちに楽しい体験をしてほしい」という、藤本さんの温かいご厚意により実現したイベントに園児たちは大喜び。株を引き抜いたり土を掘り返したりした先から次々と出てくる大きなジャガイモに、みんな夢になっていました。収穫したジャガイモは各家庭に持ち帰り、おいしくいただきました。



9月26日・27日
リードマンコンテストで第一位
北海道ホルスタインナショナルショー



坪井さん
道内から集められた優秀な乳牛の体型や資質などを競い合う乳牛共進会の全道大会、「2026北海道ホルスタインナショナルショー」が9月26日・27日、安平町の北海道ホルスタイン共進会場で開催されました。
本町からは3戸8頭の乳牛が出品され、各部門において審査が行われました。乳牛は惜しくも入賞には至りませんでしたが、出品者を対象に実施されたリードマンコンテストでは、中学2年生の坪井惺空さんが第一位となりました。

9月26日
人も猫も暮らしやすい町に
弟高生が「にゃんだふる弟子屈デー」を開催



主催者の徳永さん(右)と沢原さん(左)
弟子屈高校(伊東文人校長)2年生の徳永偉さんと沢原つばささんが、地域探究授業の一環として、保護猫・野良猫問題について考えるイベント「にゃんだふる弟子屈デー」を9月26日、町公民館で開催しました。
イベントには約25人が参加し、活動発表や猫に関するクイズを楽しみました。座談会では「保護猫を増やさないために私たちにできることは何か」をテーマに参加者と対話を行い、人と猫が共に暮らしやすい地域を考える機会となりました。

9月15日
全道大会への意気込みを語る
町小学生吹奏楽少年団が表敬訪問



町小学生吹奏楽少年団の皆さんが9月15日、徳永町長と岩原教育長を表敬訪問しました。
同少年団の5人は、第35回釧路地区小学生バンドフェスティバル(8月2日・釧路市)で優秀賞を受賞し、地区代表として全道大会出場を決めました。6年生の土屋心美さんは「練習の成果を発揮して頑張りたい」と、訪問時に決意を表明。
その後行われた全道大会の第45回北海道小学生バンドフェスティバル(9月27日・苫小牧市)でも、心に響く素敵な演奏を披露しました。

9月14日
地元での就職促進を
第4回合同企業説明会を開催



町商工会(竹森英彦会長)主催の「第4回合同企業説明会in弟子屈町」が9月14日、摩周観光文化センターで開催されました。
今回の説明会では町内の17事業所がブースを設置し、zoomによるオンライン参加も含め、就職・転職希望者や学生など、幅広い世代の方々に参加しました。
地元事業所の担当者から仕事の詳しい内容について直接聞くことができる貴重な機会となり、参加者の中にはその場で採用の話まで進んだ方もいました。

10月13日
防犯意識の向上へ
園児作成の安全ぬりえ交付式を実施



安全ぬりえの前に並んで敬礼
弟子屈警察署(齋藤淳一署長)主催による園児作成の安全ぬりえ交付式が10月13日、弟子屈郵便局(佐々木啓之局長)で行われました。
地域安全運動の一環として防犯意識を高めるため、認定こども園ましゅう(高野龍彦園長)の園児が手掛けたぬりえを郵便局に展示する取り組みで、年長児23人が一生懸命描いたぬりえを佐々木局長へ手渡しました。
同局には園児の作品のほか、弟子屈小学校(佐藤義行校長)の児童が作成した犯罪抑止標語も展示されました。

9月27日
迫り満点のレースに大歓声
第15回摩周湖ばん馬大会を開催



第2障害を駆け上がるばん馬
摩周湖馬友の会(近江屋茂会長)主催の第15回摩周湖ばん馬大会が9月27日、摩周競馬場で開催されました。
この大会は、開拓の歴史とともに歩んできたばん馬文化の継承と地域活性化を目的に開催されているもので、今年は道内各地から約50頭の馬が集結し白熱のレースを繰り広げました。町内外から訪れた来場者たちは、飲食物に舌鼓を打ちながらレースを観戦したほか、ポニーとのふれあいや、抽選会・餅まきなどのイベントも楽しめました。

9月24日
熊本地震発生に係る災害義援金
日本赤十字社弟子屈町区分区へ引継



災害義援金引継の様子
町赤十字奉仕団(高砂弥生委員長)が9月24日、熊本地震に係る災害義援金の引継を町役場で実施しました。
同奉仕団は、8月29日・30日の2日にわたり道の駅摩周温泉で募集した義援金76,331円と、あらかじめ事業趣旨に賛同いただいた町民や事業所、団体からの寄付金21,669円の、計98,000円を日本赤十字社弟子屈町区分区(徳永哲雄区分区長)へ引き継ぎました。徳永区分区長は「皆さんの善意として、義援金を熊本にしっかりと届けたい。」と話していました。

9月18日
日頃の感謝と敬意を表し長寿をお祝い
老人ホーム倅和園・特養摩周で敬老会を開催



徳永町長より祝品の贈呈
9月21日の「敬老の日」にちなみ、9月18日に養護老人ホーム倅和園(丹羽好文園長)と特別養護老人ホーム摩周(高石和恵施設長)の敬老会が、それぞれの施設で行われました。
今年の敬老会には倅和園の対象者3人、特養摩周の対象者10人が参加。喜寿、米寿、白寿を迎えた方には祝品が、今年度100歳を迎える方には内閣総理大臣からの賞状と銀杯が徳永町長より手渡され、両施設の皆さんの長寿をお祝いしました。